

centrair

中部国際空港セントレアのご案内



中部地域のため、日本のために、
皆様に愛され、活用される空港へ。

2005年2月、中部国際空港セントレアは、
日本の中心地にある空の玄関として、伊勢湾の常滑沖に誕生しました。
お客様の視点で安全性・利便性・機能性・経済性を追求した施設をご用意し、
ご利用されるすべての方々のご要望に幅広くお応えできるよう、努力を続けています。
中部地域のため、そして日本と世界を結ぶ拠点として、
これからも国際拠点空港としての役割をしっかりと果たしてまいります。



ビジネスジェット格納庫

貨物地区



空港消防所



機内食工場

旅客ターミナルビル

中部国際空港駅

CIQ庁舎

空港気象ドップラーレーダー局舎

管制塔・航空局庁舎

第1セントレアビル

第2セントレアビル (セントレアホール)

ホテル

海上アクセス
ターミナル

愛知県国際展示場「Aichi Sky Expo」
(2019年8月30日開業)

FLIGHT OF DREAMS



給油施設



第2ターミナル

(2019年9月20日供用開始)

ドリームリフター・オペレーションズ・センター



進入灯

空港の概要

<p>■面積</p> <ul style="list-style-type: none"> 空港島.....580ヘクタール 空港会社用地.....470ヘクタール 愛知県企業庁用地.....110ヘクタール 	<p>■滑走路</p> <ul style="list-style-type: none"> 数.....1本 方向.....真方位N11° W 長さ.....3,500メートル 幅.....60メートル 着陸帯の幅.....300メートル 	<p>■運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 航空機の離着陸に時間制限を設けない(24時間運用可能) <p>■スポット数</p> <ul style="list-style-type: none"> 80(小型機用を含む)
---	---	--

旅客ターミナルビルの概要

<p>■チェックイン施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際線...アイランド型 5アイランド 120ポジション 国内線...アイランド型 3アイランド 	<p>■搭乗待合施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際線...14ゲート 国内線...10ゲート 	<p>■バゲッジクレーム</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際線...5基 国内線...4基 	<p>■面積</p> <ul style="list-style-type: none"> 219,834平方メートル
<p>■バスゲート</p> <ul style="list-style-type: none"> バスゲート...6ゲート バスゲート...6ゲート 			

便利で、わかりやすく、
誰もが使いやすい空港を目指します。

地球のため、未来のため、
環境への配慮を徹底的に。

旅客ターミナルビルには様々な工夫がいっぱい。

国際線と国内線が同一ターミナル

到着フロアの2Fから出発フロアの3Fに移動するだけで、国際線にも国内線にも乗り継ぎを行えます。乗り継ぎの案内表示も、わかりやすく配置してあります。



T字型のターミナルビル

チェックインカウンターからどの搭乗口にも移動距離が短くなります。

スイングスポット

国際線と国内線両方に使用できるスイングスポットを設け、効率的な運用を可能にしています。

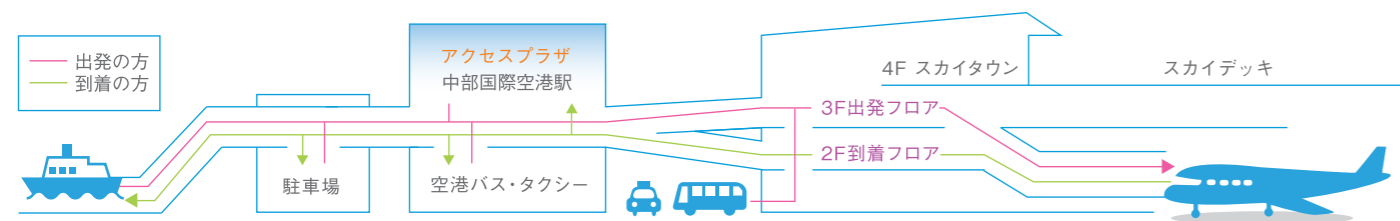
情報収集も便利で素早い、
アクセスプラザ

鉄道、車、高速船など各種アクセス交通機関と旅客ターミナルビルとの連絡機能をもった施設で、同時に交通・観光などの情報提供機能も備えています。

出発と到着の分離

出発は3F、到着は2Fと、それぞれを1フロアにまとめてわかりやすくするとともに、セキュリティを高めています。

ユニバーサルデザインを追求し、移動を快適に。



中部国際空港駅のホームには、荷物用のカートを設置。改札口を出てアクセスプラザを経由し出発ロビーに向う動線は、ゆるやかなスロープを採用し、段差がなく、カートも車椅子の方も快適な移動が可能です。さらに動く歩道により実歩行距離も短縮しています。また、電動車椅子やストレッチャーの方にもご利用いただける多目的トイレを、すべてのトイレに併設しています。



各所に設置された案内サインは見やすい文字で色使いも統一しているほか、お手伝いを望まれるお客様には人によってサポートするしくみも用意しております。案内所スタッフによるお手伝いに加え、ボランティアの方々にもおもてなしを提供していただいています。

空港ができる前から、環境への配慮を行っています。

航空機騒音に配慮して、海上に空港を建設



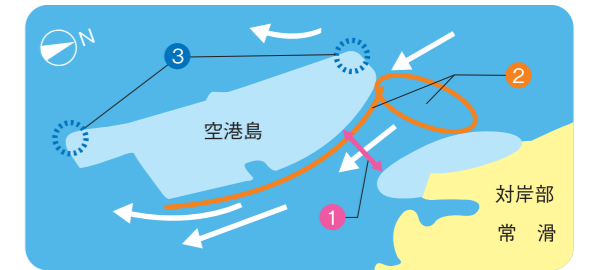
セントレアは、航空機騒音の影響を軽減するため、愛知県常滑沖の海上に空港を建設しました。さらに、陸域への航空機騒音を低減するため、滑走路の中心線をできるだけ沖側にしました。なお、開港後も航空機騒音の影響を監視するため、周辺地域に測定局を設置してデータを把握するなど、環境監視に努めています。

※この予測結果は1999年に中部国際空港が立地した場合の航空機騒音の影響を予測したものであり、2013年3月末までの環境基準値であるWECPNL値での予測図となっています。

海水の流れに配慮した空港島の位置と形

空港島の位置及び形状は、海域環境に配慮しています。

- ① 空港島と対岸部との最小海域幅を約1.1km確保することにより、常滑沖の南下流を妨げないようにしています。
- ② 空港島の形状に曲線を取り入れ、対岸部との海域幅を拡大することにより、流速低下範囲・停滞域の発生を縮小しています。
- ③ 空港島の隅角部を曲線とすることにより、渦の発生を抑えています。



空港島と海水の流れの関係

さまざまな施設やしきみを取り入れ、環境保全活動に取り組んでいます。

太陽光発電システム

旅客ターミナルビルのセンターピア屋上に、太陽光発電パネルを設置しています。発電した電気は、駐機中の航空機が使用する電力の一部となっています。



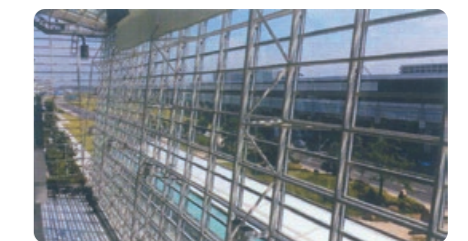
光触媒ガラス

旅客ターミナルビルの壁面ガラスの一部には、光触媒をコーティングした防汚加工ガラスを使用しています。これにより洗浄回数を減らすことができ、節水が図られています。



自然採光

旅客ターミナルビルではガラス面を多くし、天井や側面から自然の光をふんだんに取り入れることにより、照明にかかる電気使用量を削減しています。



天然ガス

コージェネレーションシステム

セントレアが使用する電気の約半分を天然ガスで発電するとともに、その際に発生する排熱を利用して冷水や温水を作り、旅客ターミナルなどに供給しています。



低公害車の普及促進

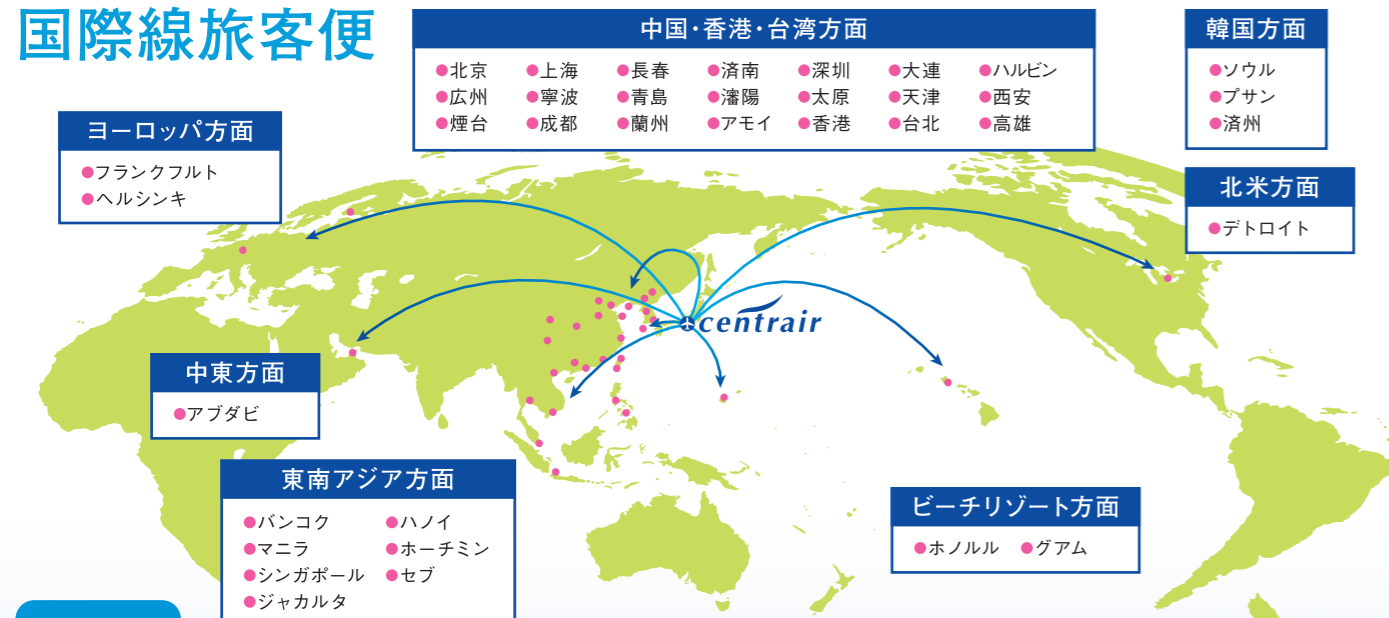
空港内で使用する車両に電気自動車や燃料電池自動車（FCV）などを導入しています。さらに一般駐車場における充電スタンドの設置など、低公害車の利用促進にも努めています。



中部から世界へ、世界から中部へ。
日本の真ん中から世界をつないでいます。

ヨーロッパ・北米・アジアなど世界の各都市とセントレアの間で、国際線旅客便が毎週約418便就航しており、毎日約90便の国内線旅客便が国内各都市を結んでいます。また、貨物専用便のネットワークも世界に広がっています。(2019.5.1現在)

国際線旅客便



貨物便



国内線旅客便



世界の空港とのつながり

ミュンヘン空港

2005年2月、中部国際空港開港時に姉妹空港提携。全社的な交流を推進するために、ワークショップを定期的に開催している。

台中国際空港

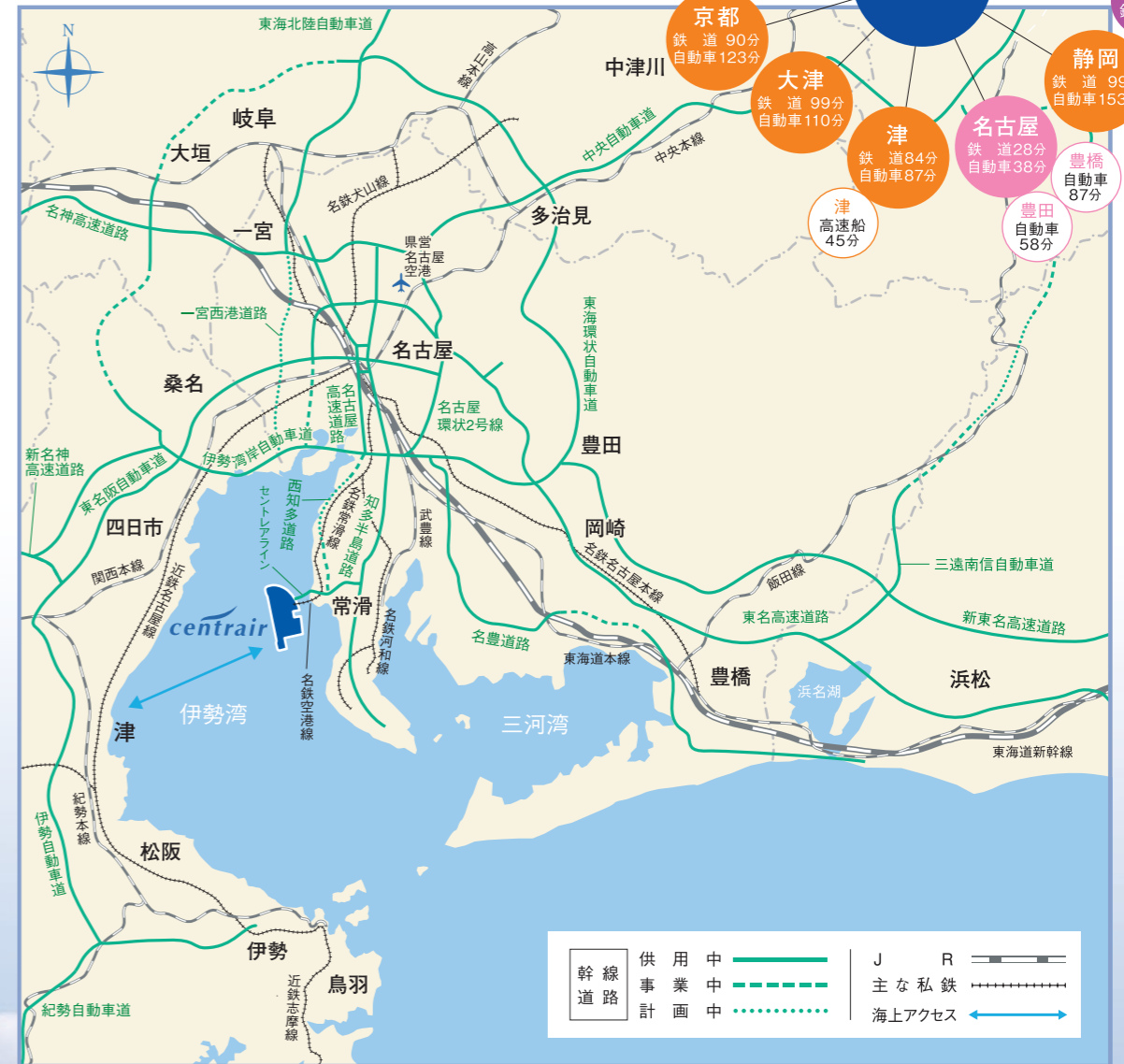
2017年4月、友好空港締結。日台中部地域、また官民挙げての交流が進む中、日台双方での更なる交流拡大と将来の定期便就航を目指している。

その他空港

ペインフィールド空港(2017年4月)
シアトル・タコマ国際空港(2018年10月)
ダナン国際空港(2019年2月)と友好空港提携。

地上アクセスも充実しています。

セントレアは日本の真ん中に位置することから、日本各地との移動が大変便利です。大阪や東京は新幹線から乗り継ぎで、石川・富山は東海北陸自動車道、福井は北陸自動車道から名神高速道路で、三重からは高速船が運航されるなど、様々な交通機関でつながっています。



鉄道で

セントレアと名古屋は、名古屋鉄道を利用し、最速28分です。名古屋駅では、新幹線、JR線、近鉄、地下鉄等とつながっています。

バスで

大きな手荷物はトランクに入り、座席はゆったり。中部地域の各都市との間は空港バスで結ばれています。

船で

三重県の津との間を高速船が毎日運航しています。船着場と旅客ターミナルビルは連絡通路で結ばれています。

世界との結びつきを
広く深くしていくために。

地域の航空貨物の拠点として、
様々な産業を支えています。

私たちはより多くの都市とセントレアを結びつけるため、様々な取組みを行っています。地元自治体や経済団体と共に行っているのが「フライ・セントレア」。海外へのご出張やご旅行の際、セントレア発着の国際線直行便を優先的に利用していただくことを、企業や旅行会社を中心とした地元の皆様に働き掛けています。また、海外から日本にお越しいただく方も、セントレアにとって大事なお客様。中部9県が一体となって行っている「昇龍道プロジェクト」にも積極的に参画しています。もちろん、航空会社に対しての就航の働きかけも忘れません。「路線ネットワークの拡充」と、インバウンドとアウトバウンド双方のさらなる「航空需要の開拓」を地域一体となって進めていきます。



地元自治体(愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市)や経済団体((一社)中部経済連合会及び名古屋商工会議所)等で組織されている中部国際空港利用促進協議会の活動。協議会では、「フライ・セントレア」や「フライ・セントレア・カーゴ」など、セントレアの利用促進・活用等の取組みを一体的に推進しています。



「フライ・セントレア・カーゴ」は、国際航空貨物の利用量を拡大し、路線の誘致につなげることで、利便性を向上させることを目的とし、パートナー企業の皆様に、中部国際空港セントレア発着便の優先利用に賛同していただく活動です。この活動を通じて、新規路線誘致につなげ、「路線の拡大」「利便性の向上」などプラスのスパイラルを生み出すことを目指します。

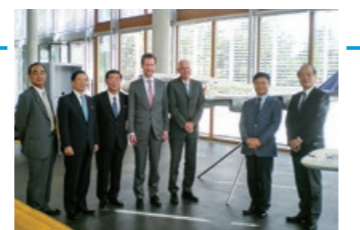
昇龍道プロジェクト

中部北陸の9県は、能登半島の形が龍の頭の形に似ており、龍が昇っていく様子を思い起こさせることから、同地域の観光エリアを「昇龍道エリア」と名付けています。自然、歴史文化など魅力的な観光スポットやおいしい食材などに恵まれ、観光資源が凝縮されています。昇龍道エリアへのインバウンドを推進するために、中部運輸局、北陸信越運輸局、中部広域観光推進協議会が「昇龍道プロジェクト」を立ち上げ、セントレアも含めた1966団体(2017年5月末現在)で、海外へのプロモーション、中部北陸圏によるおもてなしの心と受入環境の構築などに取り組んでいます。



地域一体となったエアポートセールス。

航空会社に対して、空港の魅力はもちろんのこと、中部地域全体の魅力や潜在需要の大きさ、私たちが行っている需要開拓の取組み等をPRし、新規路線の開設や既存路線の増便などを働きかけています。地域の首長や経済団体の幹部の方々とともに、航空会社の本社を直接訪問するエアポートセールスも、数多く行っています。



深夜早朝の空港利用に便利な施設整備。

LCC就航に伴い深夜／早朝便が増える中、お客様により快適な滞在時間をお過ごしいただくために、利便性の高いターミナルビル内に簡易宿泊施設としてカプセルホテル「TUBE Sq」をオープンしました。また、仮眠やシャワーのみの利用も可能です。



訪日外国人向けの施設整備

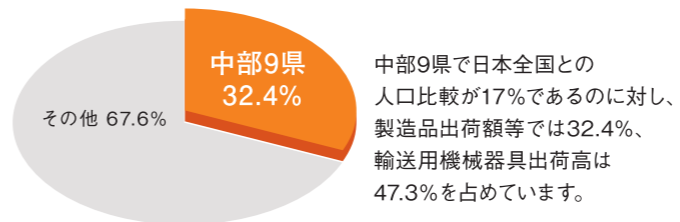
今後とも増加が見込まれる訪日外国人のお客様向けに、「SAME DAY BAGGAGE DELIVERY」(セントレアにご到着された際に手荷物を預けると、その日のうちに宿泊施設に配送されるサービス)をスタートし、受付場所として「Tourist Information & Service」を開設しました。また、非制限エリアでの免税販売店舗拡大、訪日ムスリム旅行者向けの礼拝室、小浄設備の整備なども行っています。



中部圏には、日本を代表する企業が集中。

中部圏は日本におけるものづくりの中心地であり、工業製品出荷高においては、3割もの生産高を誇っています。また海外に拠点を設けている企業も多く、多くの需要が存在します。セントレアは中部圏を支える空の交通基盤として、皆様のお役に立てるよう努力を続けています。

● 製造品出荷額等 経済産業省「平成29年工業統計調査」(H31.2.25)



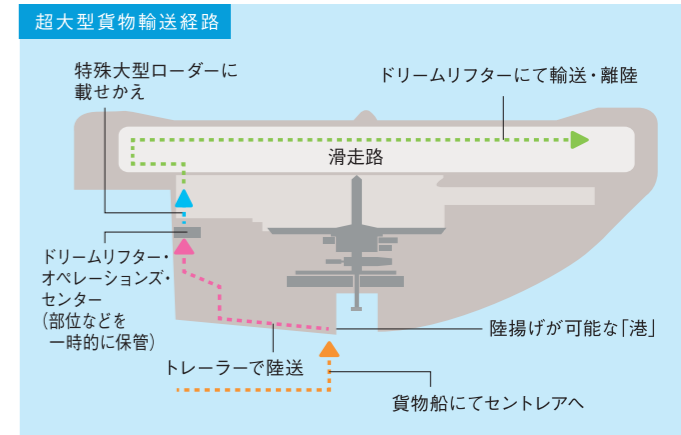
地域が世界に誇る農水産物の輸出もセントレアから。

海外では高い品質を誇る日本産の農水産物が人気です。中部地域には、花き・果物・水産品・ブランド牛など世界に誇る農産物が数多くあります。そこで、輸出事業者などと連携し、セントレアを輸出拠点とする輸送事例作りを進めています。生卵、牛肉、花き、ブリなどがセントレアから世界へ運ばれています。



航空機産業の革新に貢献する「超大型貨物輸送プロジェクト」。

中部地域は「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に指定されるなど、航空宇宙産業が集積し、世界中へ航空機部品が供給されています。特に、ボーイング787型機は35%の部位を日本企業が担当し、愛知県内の工場で製造されています。工場で作られた主翼や胴体は、セントレアまで船で海上輸送され、セントレアから専用の航空機「ドリームリフター」でアメリカの組み立て工場へ空輸されています。



航空貨物の拠点として、優れた環境を整備しています。

セントレアの貨物施設の国際貨物年間取扱能力は60万トン。中部圏の国際航空貨物を十分に受け入れられるキャパシティと利便性・機能性に優れた環境を整備しています。

工夫をこらした貨物施設

- ・貨物上屋と駐機場を近接して配置し、搭降載作業時間を短縮
- ・貨物上屋には、エアサイド・ランドサイドの両側に大型庇を設置し、雨濡れ等を防止
- ・輸出入一体型の貨物上屋で作業を効率化
- ・貨物上屋の前面にトラック待機場を設置
- ・無ナンバー車両通行帯を整備。コンテナやパレットをドリーに載せたまま運搬可能となり、ダメージ発生軽減に寄与

スムーズな物流環境

- ・日本の中心に位置し、全国への集荷・配送に最適な立地
- ・日本の空港で唯一の総合保税地域
- ・愛知県企業庁総合物流地区が隣接し、機能的に一体化した物流拠点として整備



充実した商業施設、 訪れるたびに新しい発見があります。

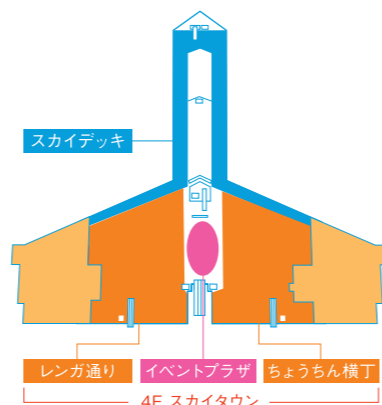
空港にはご旅行などで航空機をご利用になる方だけでなく、お見送りの方、飛行機を眺めにいらっしゃる方など、たくさんのお客様が訪れます。セントレアは、そのすべての方々の楽しい思い出づくりをお手伝いしたいとの願いから、商業施設を充実させています。地元をはじめ日本や世界の品々が並ぶショップや、レストラン、リラクゼーション施設など、訪れる方々にお楽しみいただける数多くのお店が並んでいます。

飛行機の眺めも人気！魅力的なお店がいっぱい。

旅客ターミナルビル4Fの「スカイタウン」は、「イベントプラザ」を中心に、南側にはヨーロッパの街並みを散策するような異国情緒あふれる「レンガ通り」、北側には昔懐かしい日本の宿場町をイメージさせる「ちょうちん横丁」があり、有名飲食店や人気の雑貨店などが並んでいます。また「スカイデッキ」では、離着陸する飛行機の姿を存分に楽しめます。



スカイデッキ



レンガ通り



イベントプラザ



ちょうちん横丁

セントレアホールで楽しむ。

セントレアホールは、旅客ターミナルビルに隣接した第2セントレアビル内にあり、国際シンポジウム・セミナーなどの会議や、落語・コンサート、そのほか展示会・発表会・懇親会など、多目的にご利用いただけます。

「セントレア空港音楽祭」



センターピアガーデンでくつろぐ。

スカイデッキの真下は落ち着いた空間が広がるセンターピアガーデン。天井からは色とりどりに描かれた巨大なアートキルトが飾られています。セントレアの生い立ちをご紹介する「情報コーナー」やギャラリースペースなどもあり、ゆったりと過ごすことができます。



遊べる飛行機テーマパーク「FLIGHT OF DREAMS」。

実際に使用されていたボーイング787初号機の展示をメインとした複合商業施設。体験型コンテンツエリア「フライトパーク」では、航空について楽しみながら学び、遊ぶことができます。ボーイング創業の街シアトルをテーマとした「シアトルテラス」では、飛行機の間近でシアトル本場の人気メニューやショッピングを楽しむことができます。



リラクゼーション施設や高級レストランなどで、とびきり上質なひと時を。

飛行機を眺めながら、ゆっくりと体を癒したり、素晴らしい料理を楽しめます。さらに、海外旅行時には免税店でのショッピングなど、セントレアならではの貴重な時間を心ゆくまで堪能ください。

空港で優雅なくつろぎを。

くつろぎ処



飛行機の離着陸を眺めながら入浴できる展望風呂の他、ボディケア、エステなどを完備した総合リラクゼーション施設です。

定番の名古屋めしも。



滑走路を間近に臨むレストラン。



日本のフランス料理界を代表する石鍋裕氏プロデュースによる、フランス料理「クイーン・アリス」と日本料理「歌舞伎」の2つを楽しめるレストラン。披露宴とあわせて、光が燦々と降り注ぐ約18mもの吹き抜けが印象的な大空間「センターピアガーデン」で限定結婚式が行えます。

ALICE DINING

アリス ダイニング



航空機をご利用の際には・・・

ご出発前やご到着後の一息をラウンジで。

カード会社提携のラウンジやエアライン提携のラウンジで、安らぎの時間をお過ごしいただけます。また、「第2プレミアムラウンジ セントレア」は、クレジットカードをお持ちでないお客様もご利用いただけます(有料)。



充実した品揃えの大型総合免税店。



日本最大級の売り場面積で、有名ブランドショップをはじめ充実した品揃えの総合免税店のほか、日本土産や電化製品、生鮮食品を取り扱う店舗も揃っています。

セレクトショップと寛ぎの空間。

国内線ご利用のお客様は、セントレア出発時だけでなく、到着時にも「素材のこだわり」、「デザインの良さ」、「伝統」をキーワードに本物・本質を追求した紳士衣料・雑貨を取り揃える「イセタン セントレア ストア」をご利用いただけます。

また、お買い物だけでなく、すべてのお客様にラウンジのような寛ぎを提供する公共空間「エアサイドガーデン ブルークロッシング」にて、隣接のカフェのコーヒーや軽食と共にご出発までの時間をゆっくりお過ごしいただけます。





「愛知の花装飾(伊勢志摩サミット)」

「グリーンカーテン」

「CENTRAIR SKY MARCHING FESTIVAL」

「セントレアならではの」のロケーションを活かしたイベントを開催。

セントレアで楽しい時間を過ごしていただけるよう、イベントプラザではステージイベントや各地域の物産展を開催。またスカイデッキやセントレアホールなど屋内外のスペースも活用して様々なイベントを開催しています。



「セントレア 盆踊り」



「Centrair sky illumination ~around the world~」



「Centrair Cool Jazz Festival」

中部地域の空の玄関口。地域と世界をつなぐ取り組みも。

セントレアには国内外から年間1000万人を超えるお客様がお越しになります。空港を訪れる全ての方々に向け、地域の観光資源や文化をご紹介する展示やPRイベントも人気です。少しでも多くのお客様の眼に届き、お楽しみいただけるよう、都度、場所や方法を工夫しながら行っています。



地域の皆さまと、積極的にさまざまな連携を実現。

セントレアは、地域社会の発展や国際交流に貢献することを目的として学校法人日本福祉大学および金城学院大学と産学連携協定を結んでいます。



また、地域の魅力向上に積極的に寄与するため、知多半島の地域活性化を目的にした共同プロジェクト「CHITA CATプロジェクト」にも参画し、施設等の利用促進、共催イベント等を実施しています。

空港の安心・安全を守るために。

安全は空港を運営する上で最も大切なことです。セントレアは航空機の運航とお客様の安全を、様々な人員や施設が守っています。



24時間体制で見守っています。

空港全体の集中管理、空港内の施設や設備監視、情報通信、給油施設など、様々な部門が24時間365日の対応を行っています。



笑顔とおもてなしの心をお客様に。

セントレアで働くスタッフは、一体となってサービスの向上に努めています。一人ひとりが「おもてなしの心」を持ってお客様のご期待にお応えし、魅力ある空港であり続けられるよう取り組んでいます。空港全体で「セントレアCS空港連絡会」を立ち上げ、キャンペーンや動画での情報発信、表彰制度など、様々な活動を行っています。



ボランティアスタッフも活躍しています。

お客様に温かいおもてなしを提供していただくため、地域の皆様には施設案内のボランティアとしてご活躍いただいています。また、セントレアでは社会教育への貢献と、地域や子どもたちから愛される空港を目指すため、小学校中高学年及び盲・聾・養護学校の児童・生徒の皆様を対象に、社会見学を受け入れており、説明役として活動していただいています。



顧客サービスに関して、高い評価をいただいています。

英国に本拠地をおく航空輸送産業専門のリサーチ会社であるSKYTRAX社が実施した顧客サービスに関する国際空港評価「WORLD AIRPORT AWARDS 2019」において、セントレアは5年連続で「The World's Best Regional Airport」、9年連続で「Best Regional Airport Asia」を受賞しました。また、格付けでは、リージョナル空港部門で世界初となる5スターの評価を獲得しました。これからも、セントレア全体でCS意識の向上・啓発に努めていきます。



中部圏と世界をつなぐために、
セントレアは常に進化を続けています。

セントレアグループは「お客様の視点」を
全ての原点に行動し、利便性の高い空港を目指します。

セントレアのあゆみ

- 1985年 1月 「中部国際空港建設促進期成同盟会」発足
- 12月 「財団法人 中部国際空港調査会」設立
- 1989年 3月 建設候補地を常滑沖とすることで合意
- 1997年 6月 愛知万博の開催が決定
- 12月 平成10年度政府予算案で「中部国際空港」新規事業化が認められる
- 1998年 5月 中部国際空港株式会社設立 (資本金3.22億円)
- 2000年 8月 空港の護岸工事に着手
- 12月 ISO14001の認証取得
- 2001年 5月 中部国際空港の愛称を「セントレア」に決定
- 11月 旅客ターミナルビル地区埋立竣工
- 2003年 9月 セントレアオリジナルキャラクター発表
- 2004年 2月 セントレアオリジナルキャラクター名を「なぞの旅人フー」に決定
- 10月 旅客ターミナルビル等竣工式を開催
- 2005年 2月 セントレア大見学会を開催(5、6日) 開港記念式典を開催(13日) ミュンヘン空港と姉妹空港提携(14日) 中部国際空港セントレア開港(17日)
- 3月 2005年日本国際博覧会(愛知万博)「愛・地球博」開幕 建設事務所閉所
- 8月 来港者累計1,000万人到達
- 10月 旅客ターミナルビルがグッドデザイン賞を受賞
- 2006年 3月 「AETRA」2005年の評価、旅客数規模別で第1位
- 5月 ミュンヘン空港で醸造され、空輸されたビール「エアプロイ」の販売開始
- 10月 来港者累計3,000万人到達
- 2007年 1月 次世代航空機「ボーイング787」の航空機部品を輸送するための専用貨物機「B747LCF」が初飛来
- 2月 第2セントレアビルが完成



セントレアとは、中部国際空港の愛称です。日本の中心(Central Japan=中部)にある空港(Airport)という意味を込めています。



- 3月 「2007愛知環境賞 金賞」を受賞
- 12月 内閣府が実施するバリアフリー化推進功労者表彰で、内閣総理大臣表彰を受賞
- 2008年 3月 「2008 Air Cargo Excellence Survey」で第1位
- 4月 来港者累計5,000万人到達
- 「中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会」発足
- 2009年 3月 「ASQ」2008年の評価、旅客数規模別で第1位(4年連続)、および国内線部門で第1位
- 6月 ISO9001の認証取得
- 10月 セントレア社会見学500校達成
- 2010年 2月 中部国際空港株式会社第1回社債を発行
- 3月 「2010 Air Cargo Excellence Survey」で「アジア中東地区貨物取扱量50万トン未満」カテゴリ第1位
- 9月 トライアスロン国際大会「アイアンマン70.3 セントレア常滑ジャパン」初開催
- 2011年 6月 貨物地区に「セントレア トラックステーション」を開港
- 7月 ボーイング787型機が初飛来
- 11月 ACI(国際航空評議会)選出の「エクセレントエアポート」を受賞
- 2012年 8月 来港者累計1億人到達
- 10月 国際航空宇宙展(JA2012)がセントレアを会場に開催
- 2013年 3月 「ASQ」2012年の評価、旅客数規模別で第1位
- 10月 エアシティフェディング500組の達成を記念して空の上での結婚式「20,000フィートのバージンロード」を実施
- 12月 セントレアウェブが公益社団法人日本アドバタイザーズ協会Web広告研究会主催の第1回Webグランプリ「企業グランプリ部門(企業サイト)」においてグランプリを受賞
- 2014年 3月 ドリームリフター・オペレーションズ・センターが本稼働
- 4月 国際線バス搭乗口の拡張ならびに免税店南館の増床を実施
- 10月 航空旅客数1億人を達成
- 2015年 2月 開港10周年
- 6月 ボーイングより787ドリームライナー初号機(ZA001)受贈
- 9月 空港直営バレーサービス「セントレバレーパーキングサービス」開始
- 2016年 5月 伊勢志摩サミット開催
- 7月 ドリームリフター・オペレーションズ・センター2竣工
- 8月 セントレアまるわかりツアーの参加者25万人を達成
- 11月 FLIGHT OF DREAMS概要発表
- 2017年 2月 SKYTRAX社による格付けで、リージョナル空港部門で世界初の5スターを獲得
- 2018年 5月 第2ターミナル安全祈願式
- 10月 FLIGHT OF DREAMSオープン
- 2019年 3月 SKYTRAX社実施の顧客サービスに関する空港評価で「The World's Best Regional Airport」(5年連続)「Best Regional Airport Asia」(9年連続)を受賞



グループ概要

●会社概要

会社名……………中部国際空港株式会社 Central Japan International Airport Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
設立日……………1998年5月1日(1998年7月1日 中部国際空港の事業主体として国の指定会社となる)
資本金……………836億6,800万円(設立時:3億2,200万円)
主な事業内容……………1. 中部国際空港及び航空保安施設の設置及び管理
2. 航空旅客及び航空貨物の取扱施設等の機能施設、店舗等の商業施設の建設及び管理
3. 上記に付帯する事業

●関係会社概要

会社名……………中部国際空港エネルギー供給株式会社 Centrair Energy Supply Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
設立日……………2000年9月1日
資本金……………16億円
主な事業内容……………熱供給事業

会社名……………中部国際空港施設サービス株式会社 Centrair Facility Service Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
設立日……………2003年5月1日
資本金……………4,000万円
主な事業内容……………空港施設維持管理事業

会社名……………中部国際空港情報通信株式会社 Centrair Information & Communications Network Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
設立日……………2001年10月1日
資本金……………1億2,000万円
主な事業内容……………電気通信事業

会社名……………中部国際空港給油施設株式会社 Centrair Fueling Facilities Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア五丁目4番地
設立日……………2003年6月10日
資本金……………5,000万円
主な事業内容……………航空機給油施設の運営・維持管理事業

会社名……………中部国際空港旅客サービス株式会社 Centrair Passenger Service Co., Ltd.
本店所在地……………愛知県常滑市セントレア一丁目1番地
設立日……………2003年5月1日
資本金……………5,000万円
主な事業内容……………旅客案内及び直営商業店舗運営事業、損害保険代理業等

●基本理念

1. 世界の最新技術と知識を結集し、21世紀にふさわしい、利便性・経済性に優れた競争力のある国際ハブ空港づくりに努める。
2. 「お客様第一」を旨とし、魅力あるサービスの提供を通じて21世紀の国内外の航空ネットワーク発展に寄与する。
3. 地域に根づいた企業として、環境への配慮に努め、豊かな地域社会づくりに貢献する。
4. 「オープンでフェア」を企業行動の基本とし、社会から信頼される企業市民となる。
5. 効率的な事業運営に努め、健全経営を実現する。
6. 人材育成に努め、自由闊達で風通しの良い企業風土を確立し、企業の活力を最大限に発揮する。

●ダイナミックスカイアーク(社章)



ダイナミックスカイアークは、セントレアグループの社章として位置付けています。英文社名の頭文字「C」をモチーフに、航空機の飛翔・軌跡と未来へ発展し続けるセントレアグループの躍動感と信頼性を象徴しています。

セントレアオリジナルキャラクター

セントレア フレンズ⁰⁰



<http://www.centrair.jp>

バーコードに対応している携帯電話で右記の画像を読み取ると、簡単にアクセスできます。▶

